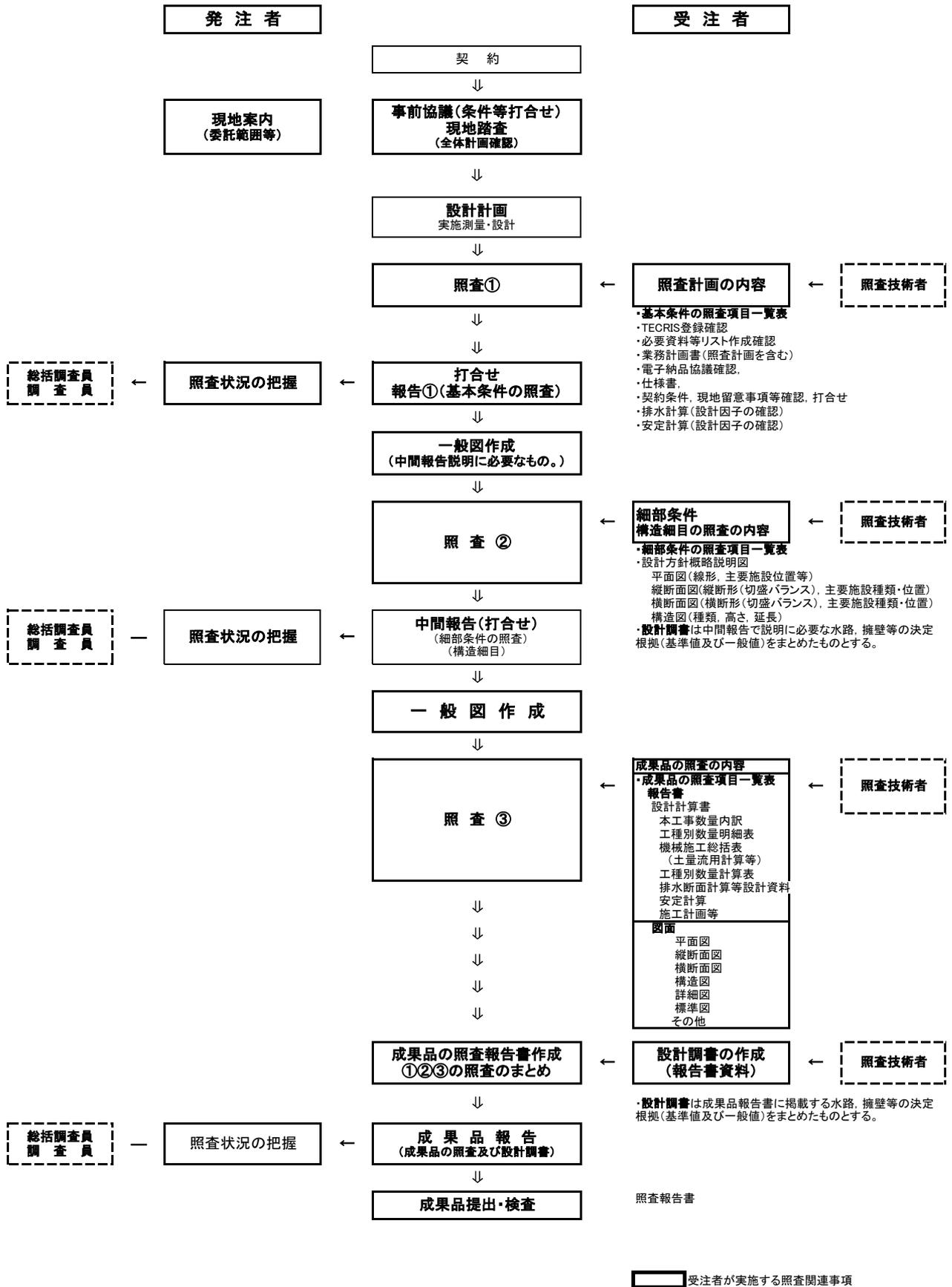


# 林道設計照査要領

## I 開設,改良,舗装

鹿児島県環境林務部

林道設計委託(開設, 改良, 舗装)照査フローチャート



注記

※ 照査②の段階より, 設計調書として報告書添付資料(設計因子)の有効活用を図る。  
 ※※ 工程に関わる照査・報告①②③の時期は, 業務計画書提出時の打合せにより設定する。

# 林道設計照査項目一覽表 (開設, 改良, 舗装)

事業種類： 開設, 改良, 舗装

---

業務名：

---

発注者名：

---

受注者名：

---

照査の日付：	照査①	平成	年	月	日
	照査②	平成	年	月	日
	照査③	平成	年	月	日

---

照査技術者氏名

㊞

---

管理技術者氏名

㊞

---

基本条件の照査項目一覧表(開設, 改良, 舗装)

照査①

照査項目	詳細	提示資料	該当対象	照査結果	備考		
					技術提案・指示事項の有無	処理完了年月日	
設計の目的, 主旨	開設の目的・趣旨を把握したか。	業務計画書					
事前準備	業務計画書を作成したか。	業務計画書					
	TECRISの登録内容の確認依頼を行い確認後に登録をしたか。						
	電子納品協議を作成したか。						
	契約内容の設計の主な項目, 工程等について具体的内容を把握したか。						
貸与資料の確認	貸与資料の不足, 追加事項があるか, リストを作成したか。	業務計画書					
	事務所又は路線毎に統一された基準要領及び申し合わせ事項等があるか確認しリストを作成したか。						
設計条件	本詳細設計路線の道路規格を把握したか。	業務計画書					
	本詳細設計路線の設計速度を把握したか。						
現地測量等に関する留意事項	ルート選定は, 全体計画調査におけるルートを基本とし, 細部調査の結果を踏まえて修正を行うことを把握したか。	業務計画書					
	IP間距離は, 地形を踏まえた距離に設定することを把握したか。						
	IP杭は樹脂製の杭を使用し, 設置位置は計画路線から離れすぎないようにすることを把握したか。						
	測角は直接法(机上IP設定を除く)により測量し, 往復確認することを把握したか。						
	地形に沿った曲線設定をすることを把握したか。						
	水準基標の(BM)設置は500m程度の間隔で堅固な場所に設置することを把握したか。						
	センター杭は, 照査②の現地打合せの段階には設置してないなければならないことを把握したか。						
	BMの設置は, 施工前後で使用しやすい場所であり, 往復確認を行わなければならないことを把握したか。						
協議承諾	現地調査に入るための立入承諾は得られているか確認したか。						
全体計画等の把握	全体計画に基づいたルート及び利用区域を把握したか。						
	全体計画調査報告書から地形, 地質, 用・排水, 土地利用等の全体的な主な状況を把握したか。						
	全体計画調査報告書から交通状況, 道路状況, 河川状況等の全体的な主な状況を把握したか。						
	全体計画調査から過去の災害記録における主な位置及び状況を把握したか。						
	全体計画調査報告書等から希少動植物について主な種類及び留意事項を把握したか。						
	全体計画調査報告書等から沿線における環境状況(日照, 騒音, 振動等)に配慮すべき施設等(畜産施設等)の種類及び場所を把握したか。						
	全体計画調査報告書等から法令規則(保安林, 砂防指定地, 急傾斜指定等)の種類及び位置を把握したか。						
	国立・国定・県立公園の区域と全体計画ルートとの関連を把握したか。						
	全体計画調査報告書から計画ルートに関連する史跡, 名勝, 天然記念物, 埋蔵文化財等について, 把握したか。						
	全体計画調査報告書から水系利用の位置及び種類等を把握したか。						

照査①

照査項目	詳細	提示資料	該当対象	照査結果	備考		
					技術提案・指示事項の有無	処理完了年月日	
現地踏査	地形、地質、用・排水、土地利用等について、現地状況を確認したか。						
	交通状況、道路状況、河川状況について、現地状況を確認したか。						
	沿線の環境状況(日照、騒音、振動等)に配慮すべき施設等の種類及び場所を確認したか。						
	森林整備(間伐等)現地状況を確認したか。						
	支障物件の種類及び場所等の状況を確認したか。 (地下埋設物を含む)						
	全体計画書に示された計画路線選定にあたっての留意点及び路線計画に講ずべき対策について内容を確認したか。 (具体的に)						
軟弱地盤	現地踏査において、計画ルートに軟弱地盤があることを把握したか。						
	既設部分における軟弱地盤が判っている場合、過去の調査、解析内容を把握したか。						
	測量段階での軟弱地盤の調査の必要性について、発注者と協議したか。						
	軟弱地盤箇所周辺の環境及び用地条件を把握したか。						
	残土予定地の受入条件で軟弱地盤受入は可能かを確認したか。						
	側方流動の影響を受ける構造物(擁壁、橋梁、人家等)はないかを確認したか。						
(平面交差点) 路線及び交差点の位置、性格	路線及び交差点位置の性格を把握したか。						
(平面交差点) 現地踏査	交差道路の規制状況を確認したか。 設計段階から気を付けるべき施工時の注意事項を把握したか。						
(平面交差点) 設計条件	道路の構造、規格を把握したか。						
	交差点形状を把握したか。						
	平面交差の間隔を把握したか。						
	方向別交通量を把握したか。						
	設計車両を把握したか。						
(平面交差点) 協議調整事項の確認	関係諸官庁、諸機関及び地元との協議調整事項の留意点を把握したか。						
(仮設構造物) 本体設計との整合	仮設構造物と本體工との整合はとれている。						
(仮設構造物) 設計の範囲、内容	適用工法は、土留工・支保工(腹起こし、切ばり)、締切工、路面覆工及び仮橋工に該当するか。						
	隣接工区との関係の把握したか。						
	本體工の施工手順を把握したか。						
	本體工の供用時期を把握しているか。						
貸与資料	貸与資料について、リストを作成したか。						
請求資料	請求資料について、リストを作成したか。						
地域振興局単独の基準要領の確認	地域振興局単位の基準等があるか確認し、必要なリストを作成したか。						
	事業毎の統一基準があるか確認し、必要なリストを作成したか。						

## 照査①

照査項目	詳細	提示資料	該当対象	照査結果	備考		
					技術提案・指示事項の有無	処理完了年月日	
地域振興局単独の基準要領の確認	既存設計資料で必要とする資料があるか確認し、必要なリストを作成したか。						
	その他必要な資料があるか確認し、必要な資料のリストを作成したか。						
測量設計段階でわかる範囲の協議	現地調査にあたり、事前に必要な協議のリストを作成したか。						
適用基準	適用設計基準名、編集・発行元を整理したリストを作成したか。						

## 基本条件の照査項目一覧表(開設, 改良, 舗装)

### 照査②

照査項目	詳細	提示資料	該当対象	照査結果	備考		
					技術提案・指示事項の有無	処理完了年月日	
現地測設	全体計画による線形を基に踏査を実施し計画を反映したか。						
	地形・地質の安定している箇所を通過する線形としたか。						
	土質の確認, 湧水状況等の現地確認をしたか。						
	ヘアピン線形の重複を避けるよう考慮したか。						
	IP間距離は, 地形を踏まえた距離に設定したか。						
	IP杭は樹脂製の杭(今後の路線管理でも必要なため)を使用したか。 ※当初打合せで, 木杭と樹脂杭のどちらにするかを決定すること。						
	BMの設置は, 500m程度の間隔で堅固な場所に設置し, 基準高については往復確認をしたか。						
	センター杭として測点, プラス点, 曲線杭及び変化点に杭が設置したか。						
	横断つなぎのための杭の上下計算が正しいことを確認したか。						
幾何構造・道路規格・設計速度	設計速度の例外規定を採用している場合は, 交通安全施設を考慮したか。						
幾何構造(曲線)	曲線半径は, 全て林道規程に従い作成したか。						
	片勾配は, 全て林道規程に従い正しく作成したか。						
	曲線部の拡幅及び拡幅のすりつけ延長は, 林道規程に従い全て正しか。						
	曲線半径で例外規定の採用がある場合は, 交通安全施設を設計したか。						
幾何構造(縦断・横断)	縦断勾配は, 林道規程に従い全て正しく作成したか。						
	縦断曲線は, 設計速度に応じた林道規定値で全て正しく作成したか。						
	横断勾配(片勾配等)は, 林道規程に従い全て正しく作成したか。						
	合成勾配は, 林道規程に従い全て正しく作成したか。						
幾何構造 待避所・車廻し	待避所は, 林道規程に従い規格構造及び間隔について全て正しく作成したか。						
	車廻しは, 林道規程に従い正しい構造で作成し, 工事車両や木材搬出等の利便性を考慮して配置したか。						
土工・法面	切盛バランスを考慮して線形を検討したか。						
	切土勾配及び盛土勾配は, 全て技術基準等で定められた土質条件に応じた適正な勾配となっているか。 切土断面の岩盤推定線は, 地表面に岩盤が露出し, 岩盤の存在が明らかな場合に検討したか。						
その他 (コンクリート路面工)	コンクリート路面工の適用区間は, 全て基準に適合して作成したか。						
その他 (標識等)	標識等について, 林道規程に従い全て適正な場所に設置する図面となっているか。						
その他 (防護柵等道路付属物)	防護柵等道路付属物の配置及び規格は適正か。						
その他 (土量計算)	土量計算について, 概算数量を作成し, 内容が正しいことを確認したか。						
関連道路対策	既設道路取付について, 幅員, 道路勾配, 延長について, 利用実態を考慮した案を作成したか。						
協議関係資料	測量設計委託段階でわかる範囲の実施段階で必要と考えられる他所管協議があるか。						

照査②

照査項目	詳細	提示資料	該当対象	照査結果	備考		
					技術提案・指示事項の有無	処理完了年月日	
協議関係資料	現地説明資料は整理されているか。 (現地立会に必要なセンター杭設置を含む)						
	土砂の処理場の位置及び規模を確認したか。						
擁壁工	擁壁工選定フローチャートにより擁壁の選定をしたか。 (補強土壁等も含む)						
	擁壁の規模は必要最小限であるか。						
	全ての擁壁の高さ決定の根拠は正しいか。						
	標準設計(断面表)の適用は正しいか。						
	標準設計を適用しない場合は安定計算を実施したか。 (※安定計算根拠のわかる資料を添付すること)						
	土質定数の想定根拠は正しいか。 (※安定計算根拠のわかる資料を添付すること。)						
	プレキャスト製品の適用は適正か。						
	基礎型式選定のための地盤条件(岩又は土砂)は整理したか。						
	現道交通、隣接家屋への影響を配慮したか。						
補強土擁壁、大型ブロックの検討が必要か。 (別途照査項目一覧表を作成)							
排水施設	排水施設は、林道規程及び基準等に従い設置条件(側溝等の選定フローチャート)にあった図面を作成したか。						
	流出量の算定は、妥当か。 (集水域, 流出係数, 降雨強度, 確率年, 算定式) (※流量計算根拠のわかる資料を添付すること)						
	通水量の算定は、妥当か。(粗度係数等)						
	断面決定の安全率は、基準に従い妥当か。						
	湧水箇所について、安全に排水する処理対策を考慮したか。						
	排水系統について、取水箇所から放流箇所までの流れ及び勾配について安全に処理できる図面になっているか。						
	現場打ちとプレキャストの使い分けは適正か。 管理上の問題は残されていないか。						
舗装	舗装種別及び舗装厚の決定方法は、適正か。						
	舗装構造の適用は、適正か。						
(平面交差点)幾何構造	平面及び縦断線形は適正か。						
	幅員構成は適正か。						
	視距, 見通し距離は適正か。						
	交差角は適正か。						
	本線シフトは適正か。 隅切りは適正か。						
(平面交差点)用地条件	用地幅杭表はあるか。						
(平面交差点)関連道路	主, 従道路の優先関係は明確となっているか。						
	副道等の取付方法は適正か。 従道路の整備は適正か。						
(平面交差点)計画条件の整理	土工及び法面工の計画は適正か。(詳細設計との整合)						
	小構造物及び構造物の計画は適正か。(詳細設計との整合)						
	用, 排水工の計画は適正か。(詳細設計との整合)						
	舗装工の計画は適正か。(詳細設計との整合)						
(平面交差点)協議関連	協議内容と諸条件は合致しているか。						
(平面交差点)施工計画	工区分けは適正か。(暫定施工の有無を含む)						
	施工性に問題はないか。						

照査②

照査項目	詳細	提示資料	該当対象	照査結果	備考		
					技術提案・指示事項の有無	処理完了年月日	
(平面交差点)設計計算	暫定施工の考え方に問題はないか。						
	片勾配、拡幅のすりつけに問題はないか。						
	用・排水の系統及び通水断面に問題はないか。						
	既存・類似設計との設計条件、適用範囲を比較確認しているか。						
(平面交差点)土工及び法面	切土断面の岩盤推定線は妥当か。						
	用地の余裕幅は適正か。						
(仮設構造物)設計基本条件	設計基準に準じているか。また、その適用範囲内か。 (道路土工-仮設構造物工指針等、河川に係る場合は仮締切提設置基準(案)、河川管理施設等構造令等)						
	工法比較検討は適正か。						
	土質定数の設定は適性か。 (単位体積重量、内部摩擦角、粘着力、透水係数等)						
	設計荷重は適正か。(死荷重、活荷重、特殊荷重、土圧等)						
	使用材料、材質、強度等の確認を行ったか。(生材、リース材等)						
	地震時を考慮するか。						
	対象水位は適切か。(自然水位、被圧水位)						
	施工基面を確認したか。						
	騒音、振動の規制値を把握したか。						
	工事車両の想定は適切か。						
	全体計画(工程)を見据えた仮設計画を検討したか。						
	測量設計委託段階でわかる範囲で河川計画の有無を確認したか。(河川管理者への確認)						
	関係機関との協議内容を反映しているか。						
(仮設構造物)施工上の基本条件	土留壁の変位制限を設けるか。						
	本体工との離れ等の関係は適正か。						
	運搬路、迂回路は適切か。						
	施工時の用地占有及び近接状況の確認がなされているか。						
	工事時期と工程が明確になっているか。						
	覆工の必要性の検討はなされているか。						
	近接構造物等への影響を考慮したか。						
	一般交通の安全性は考慮されているか。						
	歩行者の通路は確保されているか。						
	騒音、振動対策は必要ないか。						
	杭の施工方法は適正か。						
	付替え水路工は適切か。						
	関係法規の基準値を満足するか。						
特殊機械を使用する場合は、その理由を明確にしているか。							
(仮設構造物)関係機関との調整	埋設物の切廻し又は仮受け等について、関係機関との協議がなされているか。						
	交通切廻しの計画について、関係機関との協議がなされているか。						
(仮設構造物)軟弱地盤	軟弱地盤対策の既存調査結果は、目的にあった調査、解析であり不足はないか。						
	地質調査は、目的にあった調査、解析をしているか。 (盛土部の基礎地盤調査も含む)						
	盛土材の土質試験はしたか。また、その土質定数は整理したか。						
	盛土施工に軟弱地盤を流用する条件整理をしたか。						
	軟弱地盤対策は、適正か。						

照査②

照査項目	詳細	提示資料	該当対象	照査結果	備考		
					技術提案・指示事項の有無	処理完了年月日	
(仮設構造物) 軟弱地盤	盛土施工厚と施工工程とのバランスの検討をしたか。 (地盤強度増加と施工時及び完成後の盛土の安定性)						
	盛土工程の検討は適切か。 (一般盛土部, 構造物, 水路, 切り回し等)						
	側方流動の影響を受ける構造物(擁壁, 橋台等)はないか検討したか。						
	対策工の必要性と工種及びその範囲は適正か。 ①盛土安定対策 ②切土安定対策 ③沈下対策 ④その他対策						
	サンドマットの施工の必要性を検討したか。また, サンドマットの厚さは施工性を考慮し検討したか。						
	動態観測の必要性及び計画を検討したか。						
	沈下量を土量計算に加味したか。						
	用排水路で沈下すると不都合なものについて検討したか。						
	環境, 用地に対する制限はないか。 置換残土の処理場は確保したか。 ※軟弱地盤の状況によっては, 残土受入をしてもらえない場合がある。						
貸与資料	貸与資料について, リストを作成したか。						
請求資料	請求資料について, リストを作成したか。						
地域振興局単独 の基準要領の 確認	地域振興局単位の基準等があるか確認し, 必要なリストを作成したか。						
	事業毎の統一基準があるか確認し, 必要なリストを作成したか。						
	既存設計資料で必要とする資料があるか確認し, 必要なリストを作成したか。						
	その他必要な資料があるか確認し, 必要な資料のリストを作成したか。						
事前及び今後の 想定される 対外協議事項 と内容	測量設計段階でわかる範囲で今後必要と考えられる協議対象とその内容を概略整理したか。(発注後に問題とならないようにするためのメモとして)						

## 基本条件の照査項目一覧表(開設, 改良, 舗装)

### 照査③

照査項目	詳細	提示資料	該当対象	照査結果	備考		
					技術提案・指示事項の有無	処理完了年月日	
成果品の照査設計計算書	打合せ事項は、全て反映されているか。						
	安定計算結果は、全て許容値を満たすか。						
	擁壁の水に関する条件は全て適正か。						
	排水施設の安全率は、確保されているか。						
	隣接工区との整合は取れているか。						
成果品の照査設計図(全般)	林道工事調査等業務標準仕様書の別表5.1(成果品一覧表)のとおり作成したか。						
	林道工事調査等業務標準仕様書の別表5.2(設計図)に定めたとおり作成したか。						
	林道工事調査等業務標準仕様書の別表5.3(数量計算表)に定めたとおり作成したか。						
	調査路線等における各種調査測量設計の概要、工事施工上特に必要と認められる現地条件、留意事項について、取りまとめられているか。						
成果品の照査設計図(平面図)	中心線及び道路区画線等の線種及び表示及び繋がりは適正に記載しているか。						
	IPの◎及び測点の○の中心は中心線上に表示しているか。(変更等において複写して利用する際にずれの原因となり正確な複写ができないため)						
成果品の照査設計図(縦断面図)	地盤線、計画縦断線、縦断曲線の線種及び記載は適正か。						
成果品の照査測点一覧表	測点一覧表について、延長、幅員、基準高、高低差、縦断勾配、横断勾配、路肩基準高等の必要な数値を表示して作成したか。						
成果品の照査横断面図	不陸整正の幅、横断勾配、中心線移動及び重心距離等の表示は適正か。						
	用地境界の表示は適正か。						
成果品の照査土工標準図	土工標準図について、掘削等の標準的な勾配及び幅等の考え方、構造物の形状、寸法等を適正に記載したか。						
成果品の照査数量計算	数量計算に用いた寸法、記号は図面と一致するか。						
	数量取りまとめは、種類毎に、材料毎に、打合せ区分毎にまとめられているか。						
成果品の照査報告書設計説明書	設計条件、構造物の規模、型式等の決定に至る経緯、検討内容、施工上留意すべき事項等について簡潔に記載したか。						
	条件設定の考え方が整合しているか。						
	比較検討の結果が整合しているか。						
	打合せ事項は全て反映したか。						
	工事発注に際しての留意事項が記述されているか。						
	設計基準値を技術基準等より引用している場合は、出典書名及びページを明記したか。						
	測量設計段階でわかる範囲の実施段階で考えられる協議事項について、留意事項を記載したか。						
	環境(騒音、振動)面の対応、景観性は適正か。						
成果品の照査構造図(擁壁工)	詳細平面図、詳細縦断面図、詳細横断面図は、必要に応じて適正に作成されているか。						
	構造物の正面図、側面図、平面図等の作成について必要な形状、寸法、角度、勾配、材料名、数量等の表示は適正か。						
	構造物の曲線部における天端前面延長、天端後面延長、底前面延長、底後面延長、基礎前面延長、基礎後面延長等について、寸法を表示したか。						

照査③

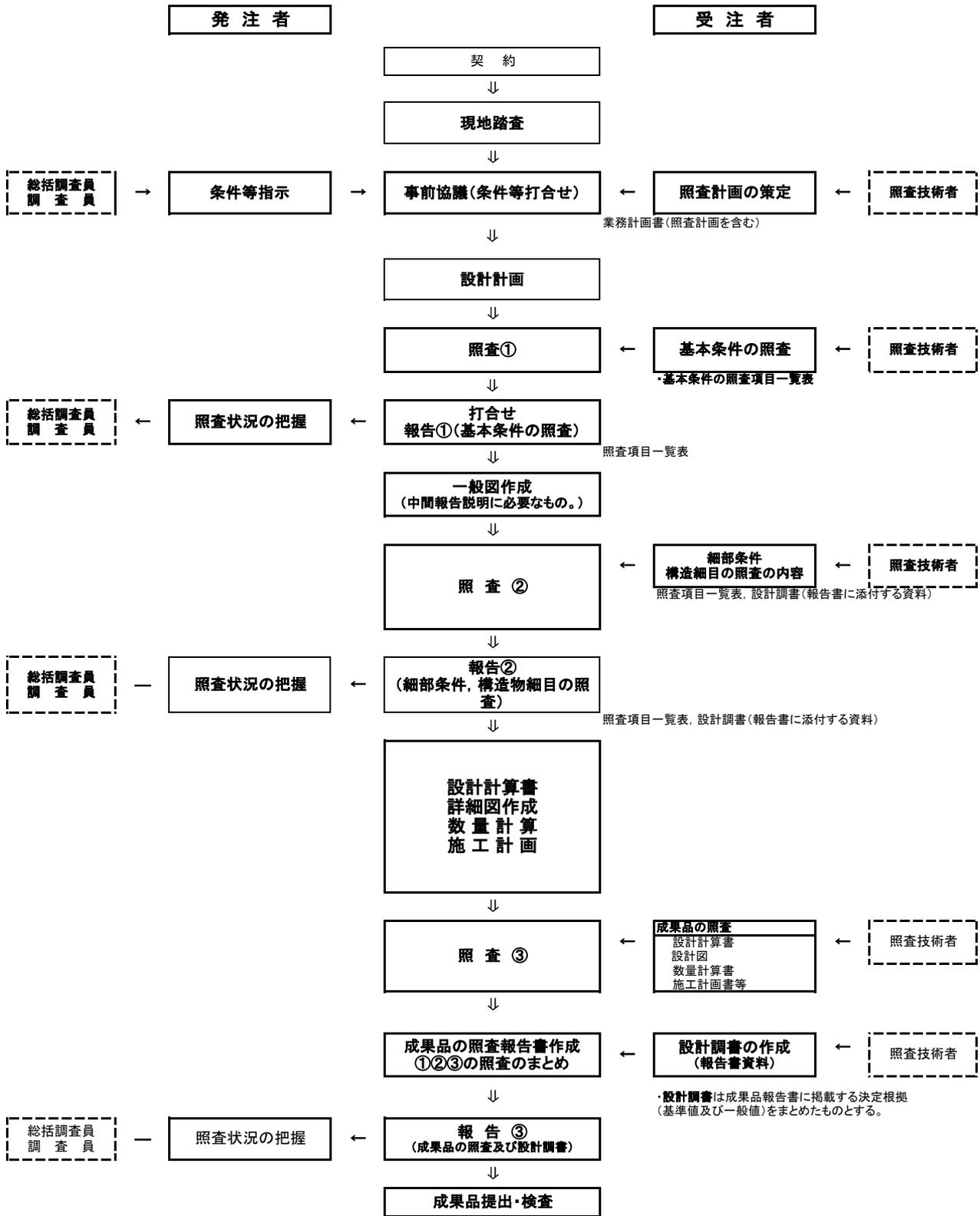
照査項目	詳細	提示資料	該当対象	照査結果	備考		
					技術提案・指示事項の有無	処理完了年月日	
成果品の照査 構造図(擁壁工)	ブロック積擁壁等において、水抜きパイプ及び吸出防止材については諸雑費として計上するため数量について( )書きなどの数量と区別できる表示としているか。						
	補強土壁は、各層の敷設材の幅、延長、種類、規格等を記入した投影図等を作成したか。						
	鉄筋使用がある場合は、鉄筋の種類、規格、寸法等を記入した配筋図及び鉄筋加工図、鉄筋の重ね量等の図面表示をしたか。						
成果品の照査 構造図(排水施設)	詳細平面図、詳細縦断面図、詳細横断面図は、必要に応じて適正に作成されているか。						
	排水施設工の正面図、側面図、平面図等の作成について必要な形状、寸法、角度、勾配、材料名、数量等の表示は適正か。						
	排水施設(側溝)の勾配は縦断面図の緩勾配区間において、横断勾配の片勾配から両勾配等による縦断方向の側溝部分の勾配が確保できているか検討したか。						
	数量計算に必要な構造寸法の表示があり、図面上に記載した寸法を使用して計算したか。						
	排水施設の勾配の基礎となる上流及び下流の基準高、水平距離及び斜距離を記載したか。						
成果品の照査 (附帯工図面)	附帯工水路工がある場合、平面図、縦断面図、横断面図等作成は適正か。						
	附帯工構造図がある場合、正面図、側面図、平面図等の作成について必要な形状、寸法、角度、勾配、材料名、数量等の表示は適正か。						
	残土場について、位置図、平面図、縦断面図、横断面図、構造図、数量計算等の作成は適正か。						
	作業ポイントについて、平面図、縦断面図、横断面図、構造図、数量計算等の作成は適正か。						
成果品の照査 (用地図面)	用地測量の成果を基に、地積測量又は面積計算を行い、所定の用地図及び関係図面の作成は適正か。						
成果品の照査 (協議図面)	取付等他所管等の協議内容と適合する図面となっているか。						

# 林道設計照査要領

## Ⅱ 橋 梁

鹿児島県環境林務部

林道設計(橋梁)照査フローチャート



受注者が実施する照査関連事項

注記

※ 照査②の段階より、設計調書として報告書添付資料(設計因子)の有効活用を図る。  
 ※※ 工程に関わる照査・報告①②③の時期は、業務計画書提出時の打合せにより設定する。

## Ⅱ 林道設計照査項目一覽表 (橋梁)

事業種類： 橋梁

---

業務名：

---

発注者名：

---

受注者名：

---

照査の日付：	照査①	平成	年	月	日
	照査②	平成	年	月	日
	照査③	平成	年	月	日

---

照査技術者氏名

㊞

---

管理技術者氏名

㊞

---

基本条件の照査項目一覧表(橋梁)

照査①

照査項目	詳細	提示資料	該当対象	照査結果	備考		
					技術提案・指示事項の有無	処理完了年月日	
設計の目的, 主旨	橋梁詳細設計の目的, 主旨は理解したか。	業務計画書					
	地域構想等の関連する上位計画を把握したか。						
	設計の主な項目, 工程について, 具体的内容を把握したか。						
現地踏査	地形, 地質, 気象, 現地状況は把握したか。	現場写真他					
	交通状況, 河川状況は把握したか。						
	環境状況(振動, 騒音等の配慮が必要な場所等)は把握したか。						
	支障物件の種類及び場所等の状況を把握したか。(地下埋設物を含む)						
	施工時の注意事項は把握したか。						
設計基本条件	予備設計成果において, 構造形式の選定は適正か。(経済性, 安全性, 施工性, 景観性, 総合評価等)	基本条件検討書					
	構造形式(支承形式含む), 橋長, スパン割り, 遊間は適正か。						
	重要度の区分(A種の橋, B種の橋)は, 適正か。						
	荷重条件(設計時, 施工時)は, 適正か。						
	特殊荷重の位置, 大きさは確認したか。						
	施工条件の基本は, 確認したか。(時期, スペース, 環境, 交通条件, 安全性の確保, 近接施工, 部材の輸送条件)						
	使用すべき設計基準は, 把握したか。						
	新工法, 新技術の採用の検討が必要か把握したか。						
	暫定計画, 将来計画と整合しているか。						
	塩害に対する検討を確認したか。						
	雪処理の方法を確認したか。						
	火山の降灰に対する検討を確認したか。						
	関連する設計, 示方書等と整合がとれているか。						
	鋼道路橋設計ガイドライン(案)の適用を検討したか。						
土木構造物設計ガイドライン(案)の適用を検討したか。							
基礎工形式の選定は適正か。							
幾何構造, 線形条件	幅員構成, 幅員変化, 平面線形は, 適正か。	基本条件検討書					
	縦断線形は, 適正か。						
	座標系と基準点は適正か。						
橋面工, 付属工の基本条件	横断勾配, 舗装厚は適正か。	基本条件検討書					
	歩道構造は, 適正か。						
	地覆, 高欄は, 適正か。						
	遮音壁は, 適正か。						
	落下防止柵は, 適正か。						
	照明柱, 標識柱は適正か。						
	排水工は, 適正か。						
	伸縮装置の選定は適正か。(ゴム伸縮継手の可能性を確認したか。)						
	検査路の必要性を検討したか。						
	検査路の設置位置は適正か。						
	支承タイプは, 適正か。(タイプA, タイプB)						
	支承構造は適正か。(免震, 反力分散, 固定可動)						
踏掛板は, 適正か。							

照査①

照査項目	詳細	提示資料	該当対象	照査結果	備考		
					技術提案・指示事項の有無	処理完了年月日	
	護岸工は、適正か。						
橋面工, 付属工の基本条件	適用基準は、適正か。	基本条件検討書					
	落橋防止システムの選定は適正か。 (橋軸方向, 橋軸直角方向)						
	その他付属構造物(添加物等)の設置の必要性を検討したか。						
交差条件	河川条件は、満足するか。 (基準径間長, 障害率, 流心方向, 桁下余裕, 堤防定規断面等)	基本条件検討書					
	道路交差条件は、満足するか。 (建築限界, 桁下余裕, 平面線形, 桁架設法等)						
	鉄道交差条件は、満足するか。 (建築限界, 桁下余裕, 平面線形, 桁架設法等)						
	支障物件への対応方法の検討の必要性は確認したか。						
	交差協議に関わる協議資料作成の種類と内容は、確認したか。						
	フーチングの土かぶり、適切か。(交差条件等)						
地盤条件	土質定数の設定は妥当か。	基本条件検討書					
	支持力, 地盤バネ値の設定は妥当か。						
	水位, 水圧の評価は、妥当か。						
	構造図と柱状図との位置関係は、妥当か。						
	軟弱地盤として検討する必要性を確認したか。						
	液状化及び流動化の有無を確認したか。						
	地盤から決まる許容支持力は、妥当か。						
	支持層が岩の場合の考え方は、妥当か。						
耐震検討	土質定数の設定は妥当か。 (固有周期, 地域別補正係数, 地盤種別, 等価水平震度, 設計水平震度等)	基本条件検討書					
	設計振動単位が適正か。						
	免震設計の検討の必要性を確認したか。						
	動的解析の必要性を確認したか。 (地震時の挙動が複雑な橋)						
	地震力を分散させる構造系を配慮しているか。						
地形条件	用地境界は、確認したか。	基本条件検討書					
	施工ヤードスペースは、確認したか。						
	資機材運搬路は、確保できるか。						
使用材料	使用材料と規格, 許容応力度は、妥当か。 (鋼, コンクリート, PC等)	基本条件検討書					
	特殊材料の供給条件は、確認したか。						
	耐候性鋼材の使用は、可能か。						
	塗装仕様の検討及びライフサイクルコストの確認をしたか。						
環境及び景観検討	環境及び景観検討の必要性, デザインコンセプト, 範囲等は、理解したか。	基本条件検討書					
	環境及び景観検討の具体的方法, 作成すべき資料等は、明らかとなっているか。						
コスト縮減	予備設計で提案されたコスト縮減設計留意書を確認したか。	基本条件検討書					
建設副産物対策	予備設計で作成されたりサイクル計画書を確認したか。	基本条件検討書					
貸与・請求資料	貸与資料の不足, 追加事項があるか。	打合せ資料					

基本条件の照査項目一覧表(橋梁)

照査②

照査項目	詳細	提示資料	該当対象	照査結果	備考		
					技術提案・指示事項の有無	処理完了年月日	
上部構造	適用基準は、正しいか。	一般図及び設計条件検討書					
	支承条件及び地盤条件と橋梁形式は、整合しているか。						
	解析上のモデル化は、妥当か。						
	桁配置は、妥当か。						
	構造高は、妥当か。						
	桁端部と桁遊間は、妥当か。						
	床板厚、床組は、妥当か。						
	解析法(適用プログラム、構造モデル)は、適切か。						
	架設法を設計に考慮したか。 (運搬路、部材長、部材重量、架設方法と順序、施工ヤード、施工スペース、架設時の構造系等)						
	材料使用区分は、妥当か。 (鋼材、コンクリート、鉄筋)						
	構造細目は、妥当か。 (鉄筋かぶり、ピッチ、継手、折り曲げ位置、フック形状等) (断面変化位置、鋼板厚、板幅、材料使用区分、継手部、補剛材、取付部等)						
	橋面舗装厚、付属工(検査路等)の計画変更はないか。						
	支承、落橋防止システム、伸縮装置、高欄等の設計条件は適切か。						
	塩害対策は、適切か。						
	防水工は、適切か。						
塗装系は、適切か。							
添架物の支持方法は、適切か。							
下部構造	適用基準は、正しいか。	一般図及び設計条件検討書					
	橋台、橋脚の位置・形状は、適正か。						
	支承条件(E, F, M)は、妥当か。						
	支承縁端距離は、確保されているか。						
	けたかかり長は、確保されているか。						
	形状、寸法の基本的統一は、図られているか。						
	裏込土、埋戻土の種類と土圧係数は、妥当か。						
	施工法は、配慮しているか。 (運搬路、施工法と順序、施工ヤード、施工スペース、施工区分、コンクリート打設のロット割等)						
	材料使用区分は、妥当か。						
	構造細目は、妥当か。 (鉄筋かぶり、ピッチ、継手、折り曲げ位置、フック形状等)						
	橋脚の地震時保有水平耐力及び応答塑性率、残留変位を確認したか。						
	段違い橋脚の場合、段違い部や桁端部の構造を検討したか。						
地下水の変動は、確認したか。							
基礎構造	適用基準は、正しいか。	一般図及び設計条件検討書					
	基礎形式は、妥当か。 (直接基礎、杭、ケーソン、ウエル等)						
	形式、寸法は、妥当か。 (杭であれば、杭種、杭径等)						
	支持層への根入れは、妥当か。						
液状化及び流動化の検討は妥当か。							

照査②

照査項目	詳細	提示資料	該当対象	照査結果	備考		
					技術提案・指示事項の有無	処理完了年月日	
基礎構造	軟弱地盤の場合橋台の側方移動、圧密沈下量、杭のネガティブフリクションの照査を行ったか。	一般図及び設計条件検討書					
	近接施工の問題はないか。						
	設計理論と解析手法は、妥当か。						
	施工法は、妥当か。 (運搬路、施工法と順序、施工ヤード等)						
	材料使用区分は、妥当か。						
	構造細目は、妥当か。 (鉄筋かぶり、ピッチ、継手、折り曲げ位置、フック形状、杭頭処理等)						
	埋設物との取合いは、問題ないか。						
	地盤改良の必要性を確認したか。						
	耐震設計上の基盤面、地盤面は、適切か。						
	土質定数は妥当か。						
	基礎の地震時保有水平耐力及び応答塑性率、残留変位を確認したか。						
付属構造物 (道路標識、照明、添架物、遮音壁等)	選定形式、位置、寸法は、妥当か。	設計条件検討書					
	適用基準は、正しいか。						
	プレキャスト化、二次製品の使用等を配慮しているか。						
	使用実績はあるか。						
	維持管理性は、配慮したか。						
	本体との取合いは、妥当か。						
	通信管路及び照明用電源管路は、計画されているか。						
	照明配置は、妥当か。						
	景観を配慮しているか。						
	排水計算は、行われているか。						
	路面排水の流末処理は、妥当か。 (二次排水を考慮しているか。)						
仮設構造物	仮設構造物詳細設計照査要領による。	設計条件検討書					
その他 (埋設物、支障物件、周辺施設との近接等、施工条件)	その他 (埋設物、支障物件、周辺施設との近接等、施工条件)が設計計画に反映されているか。	設計条件検討書					
コスト縮減	予備設計で作成されたりサイクル計画書について、検討したか。	設計条件検討書					
建設副産物対策	建設副産物の処理方法は、適正か。 リサイクル計画書を考慮したか。	設計条件検討書					

基本条件の照査項目一覧表(橋梁)

照査③

照査項目	詳細	提示資料	該当対象	照査結果	備考		
					技術提案・指示事項の有無	処理完了年月日	
設計計算書	打合せ事項は、反映されているか。	設計計算書					
	計算上の仮定値と設計値との差は、妥当か。						
	上部工の床版、主桁の応力度は、許容値を満たしているか。						
	下部工、基礎工の各部応力及び安定計算結果は、許容値を満たしているか。						
	許容応力度の取り方は、正しいか。						
	荷重の組合わせと割増し係数は、妥当か。						
	二次応力を計算する必要はないか。						
	破壊安全度の照査をしたか。						
	座屈規定に基づく計算が、されているか。						
	施工条件を配慮した計算となっているか。						
	最小鉄筋量等構造細目は、正しいか。						
	所要のじん性率を確保するための帯鉄筋を配置しているか。						
設計図	縮尺は、共通仕様書と整合しているか。	設計図					
	一般図には、必要な項目が記載されているか。 (設計条件、地質条件、建築限界等)						
	構造図の基本寸法、座標値、高さ関係は、照合されているか。						
	設計計算書との整合は、図られているか。						
	構造詳細は、適用基準及び標準構造と整合しているか。						
	取り合い部の構造寸法は、適正か。						
	解り易い注記がついているか。						
	付属物の形式、配置、取り合いは、妥当か。						
	各設計図が、お互いに整合されているか。 ・一般平面図と縦断面 ・構造図と配筋図 ・構造図と仮設図						
	使用材料は、明記されているか。						
	設計計算書の結果が、正しく図面に反映されているか。 (特に応力計算、安定計算等の結果が適用範囲も含めて整合されているか。) ・壁厚 ・鉄筋(径ピッチ、使用材料、ラップ位置、ラップ長、主鉄筋の定着長、ガス圧接位置) ・鋼材形状寸法 ・使用材料 ・その他						
	数量計算書		数量計算書は、数量算出要領及び打合わせ事項と整合しているか。(有効数字、位取り、単位、区分等)	数量計算書			
数量計算に用いた寸法、数値は、図面と一致するか。							
数量取りまとめは、種類毎に、材料毎に、打合せ区分に合わせてまとめられているか。							
橋台の後打ちコンクリートを分離して計上しているか。							
施工法検討	施工時の道路・河川等の切廻し計画は、妥当か。	施工計画書					
	工事用道路、運搬路計画は、妥当か。						
	施工ヤード、施工スペースは、確保されているか。						
	部材長、部材寸法、部材重量は、適正か。						
	施工法、施工順序は、妥当か。						
	支保工、仮設備等は妥当か。						
	施工工程は妥当か。						
	経済性は、配慮されているか。						
安全確保は、配慮されているか。							

照査③

照査項目	詳細	提示資料	該当対象	照査結果	備考		
					技術提案・指示事項の有無	処理完了年月日	
施工法検討	環境対策は、配慮されているか。	施工計画書					
	工事用仮設電源は、検討されているか。						
	施工機械の種類、規格は、適切か。						
設計調書	調書の記入は適正にされているか。	施工計画書					
	マクロ的に見て問題ないか。 (主要寸法、主要数値(例:m <sup>3</sup> 当たりコンクリート量、m <sup>3</sup> 当たり鉄筋量等)を類似例、一般例と比較する。)						
報告書	打合せ事項は、反映されているか。	設計報告書					
	条件設定の考え方が整合しているか。						
	比較・検討の結果が、整理されているか。						
	工事発注に際しての留意事項が記述されているか。						
建設副産物対策	リサイクル計画書を作成しているか。	リサイクル計画書					
TECRISの登録	TECRISの登録はされたか。	登録受領書					

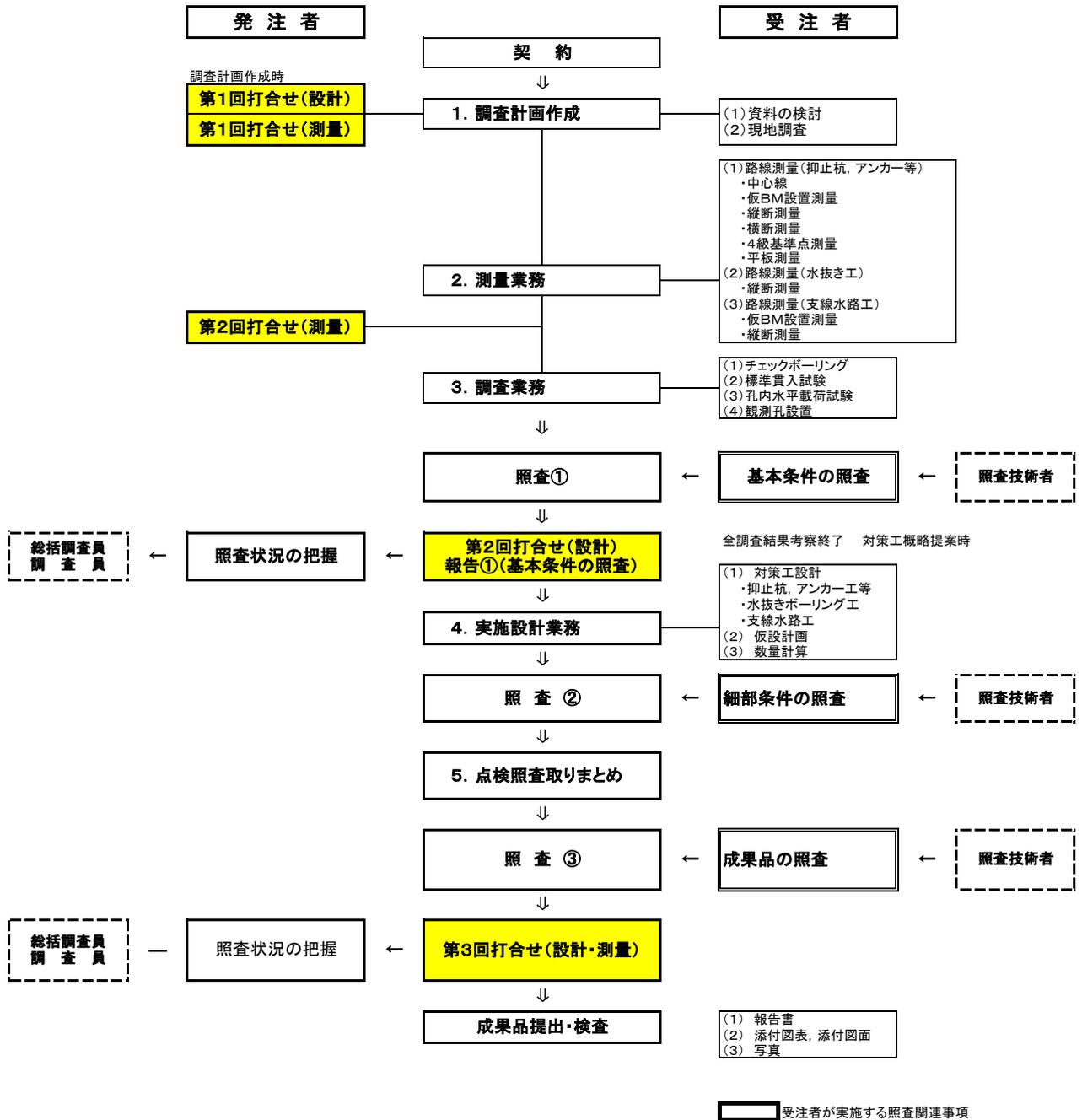


# 林道設計照査要領

## Ⅲ 地すべり対策

鹿児島県環境林務部

林道設計(地すべり対策)委託照査フローチャート



注 記

- ※ 照査②の段階より, 設計調査として報告書添付資料(設計因子)の有効活用を図る。
- ※※ 工程に関わる照査・報告①②③の時期は, 業務計画書提出時の打合せにより設定する。

# 林道設計照査項目一覧表 (地すべり対策工)

事業種類： 地すべり対策工

---

業務名：

---

発注者名：

---

受注者名：

---

照査の日付：	照査①	平成	年	月	日
	照査②	平成	年	月	日
	照査③	平成	年	月	日

---

照査技術者氏名

㊞

---

管理技術者氏名

㊞

---

基本条件の照査項目一覧表(地すべり対策工)

照査①

照査項目	詳細	提示資料	該当対象	照査結果	備考		
					技術提案・指示事項の有無	処理完了年月日	
基本事項	目的・主旨を理解しているか。						
	設計の範囲・数量及び主な作業項目とその精度・工程等について把握しているか。						
設計基本条件	地すべりブロック、保全対象物件を把握しているか。						
貸与資料	貸与資料の不足事項・追加事項があるか。						
	事務所に統一された基準事項があるか。						
現地調査	地形・地質(特殊土壌地帯)・土地利用等現地の状況を把握しているか。						
	地質調査の結果を把握しているか。						
	道路状況、家屋状況を把握しているか。						
	支障物件の状況を把握しているか。						
	主要構造物設置予定を把握しているか。						
	用地の制限条件を確認しているか。						
	周辺の環境条件を把握しているか。						
	水路、擁壁などの必要性を把握しているか。						
	工事用侵入路として既設道路が利用可能か。						
	その他施工時点の注意事項を把握しているか。						
対策工の設計	選定した対策工は適正か。						
	抑制工と抑止工の組み合わせは適切か。						
	地元の了解(承諾)は得ているか。						

基本条件の照査項目一覧表(地すべり対策工)

照査②

照査項目	詳細	提示資料	該当対象	照査結果	備考		
					技術提案・指示事項の有無	処理完了年月日	
地すべりブロック、すべり面の決定	ブロックを決定した根拠は、地表変状との整合がとれているか。						
	主測線測量は、ブロック頭部まで含めているか。						
	すべり面を決定した根拠は適性か。						
地すべり安定解析	地すべり安定解析は、二次元断面でのスライス法(簡便法)で行っているか。						
	解析図には、地下水水位線(現況と地下水水位低下後)を明記しているか。						
	地すべり土塊の崩壊土は $\gamma_t = 18 (\text{KN/m}^3)$ は適切か。						
	地すべり層厚や地山勾配と逆算法で求めたC, $\phi$ は、現地と整合がとれているか。						
	設計に使用する計算式及び諸数値は適性か。						
	現況安全率Fsは、1.0となっているか。						
	計画安全率は、適切に定められているか。Fs=1.15, 1.2等						
工法の選定	地すべりの特徴を検討しているか。						
	打合せ 事項を反映しているか。						
	工法の比較検討を行っているか。						
	事務所の他地区との整合は良いか。						
対策工の設計	計算基準に則っているか。						
	地すべりの特徴を考慮しているか。						
	設計方針を明示しているか。						
	最も経済的な規格を選定しているか。						

基本条件の照査項目一覧表(地すべり対策工)

照査③

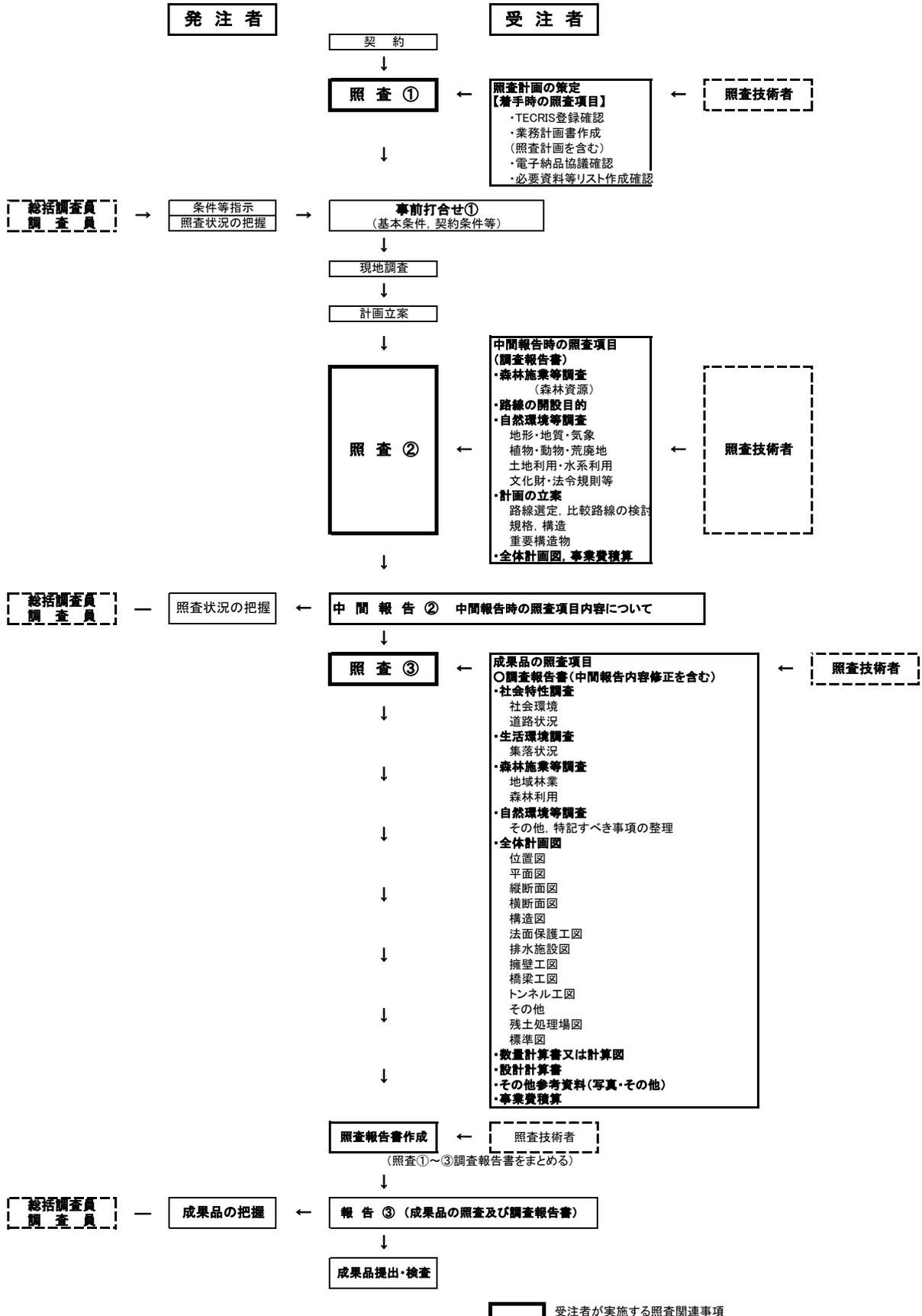
照査項目	詳細	提示資料	該当対象	照査結果	備考		
					技術提案・指示事項の有無	処理完了年月日	
設計計算書	打合せ事項は反映されているか。						
	安定解析結果は、目標安全率を満たしているか。						
	鋼管杭の計算は、杭の選定が適切か。						
	許容応力度の取り方は、正しいか。						
	水抜きボーリングの先端開き角度は適切か。						
詳細設計	規格は特別仕様書と整合しているか。						
	打合せ事項は、反映されているか。						
	構造計算と整合しているか。						
	鋼管杭の種類(径と厚み)の選定は、適切か。						
	水抜きボーリングの配置は、適切か。						
数量計算書	数量計算は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。 (有効数値・位取り単位・区分等)						
	数量計算に用いた寸法は、図面と一致しているか。						
	数量取りまとめは、打合せの種類・材料毎に行っているか。						
施工計画・特別仕様書	施工機械の選定は、妥当か。						
	工事用道路・搬入路計画は、妥当か。						
	施工ヤード・施工スペースを確保しているか。						
設計報告書	報告書の構成は、設計実務報告書標準様式に準じているか。						
	計算に使用した計算式、数量及び引用した文献等の出典及び根拠は明確になっているか。						
	計算過程が理解しやすいように整理されているか。						
コスト縮減対策	施設の提案内容及び比較検討の過程や結果等の成果が、最も経済的なものとして整理されているか。						

# 林道設計照査要領

## IV 林道(路線)全体計画調査

鹿児島県環境林務部

# 林道(路線)全体計画調査委託照査フローチャート



# 林道設計照査項目一覧表 (林道(路線)全体計画調査)

事業種類： 林道(路線)全体計画調査

---

業務名：

---

発注者名：

---

受注者名：

---

照査の日付：	照査①	平成	年	月	日
	照査②	平成	年	月	日
	照査③	平成	年	月	日

---

照査技術者氏名

㊞

---

管理技術者氏名

㊞

---

基本条件の照査項目一覧表(林道(路線)全体計画調査)

照査①

照査項目	詳細	提示資料	該当対象	照査結果	備考		
					技術提案・指示事項の有無	処理完了年月日	
調査業務着手時の照査	TECRISの登録内容の確認依頼書を作成したか。	契約登録業務カルテ					
調査業務着手時の照査 (調査準備等)	全体計画調査の事前協議リストを作成したか。						
	業務計画書を作成したか。						
	電子納品の協議を作成したか。						
	特記仕様書の内容は把握したか。						
	契約内容はすべて把握したか。						
	林道規程について、内容を十分把握したか。						
	全体計画調査に必要な文献・各種資料の収集のための打ち合わせリストを作成したか。						
	路線の起点、経過点、終点について、地図等で確認したか。						
調査業務着手時の照査 (社会特性調査)	社会環境調査について、必要な調査資料のリストを作成したか。						
	地域路網調査に必要な調査資料のリストを作成したか。						
調査業務着手時の照査 (生活環境調査)	生活環境調査について、必要な調査資料のリストを作成したか。						
調査業務着手時の照査 (森林施業等調査)	地域林業の振興に関する調査について、必要な調査資料のリストを作成したか。						
	森林資源に関する調査について、必要な調査資料のリストを作成したか。						
	森林の総合利用に関する調査について、必要な調査資料のリストを作成したか。						
調査業務着手時の照査 (協議承諾)	現地調査に入るための立ち入り承諾は得られているか確認したか。						
適用設計基準	適用設計基準名、編集・発行元を整理したリストを作成したか。						
貸与・請求資料の確認	貸与資料について、リストを作成したか。						
	請求資料について、リストを作成したか。						
地域振興局単独の基準要領の確認	地域振興局単位の基準等があるか確認し、必要なリストを作成したか。						
	事業毎の統一基準があるか確認し、必要なリストを作成したか。						
	既存設計資料で必要とする資料があるか確認し、必要なリストを作成したか。						
	その他必要な資料があるか確認し、必要な資料のリストを作成したか。						
協議リスト	測量設計段階でわかる範囲で今後必要と考えられる協議対象とその内容を概略整理したか。(発注後に問題とならないようにするためのメモとして)						

基本条件の照査項目一覧表(林道(路線)全体計画調査)

照査②

照査項目	詳細	提示資料	該当対象	照査結果	備考		
					技術提案・指示事項の有無	処理完了年月日	
森林資源等調査 (利用区域内の森林資源)	森林簿、森林施業図、空中写真等を利用し、森林資源図を作成したか。						
	森林簿、森林施業図、空中写真等を利用し、林相区分図を作成したか。						
	森林資源の分布及び施業方法別面積を定量的に把握できる資料を作成したか。						
路線計画の策定	開設目的について整理しているか。						
自然環境等調査 (地形調査)	計画路線を記入した地形図を作成したか。						
	調査区域の傾斜区分図を作成したか。						
	計画路線を記入した地質図を作成したか。						
自然環境等調査 (気象調査)	調査区域について過去10年間の平均気温及び平均降水量の変化についての資料及びデータ表を作成したか。						
自然環境等調査 (動物・植物調査)	調査区域について天然記念物、希少動植物について調査し、動物・植物調査図を作成したか。						
自然環境等調査 (植物調査)	調査区域の植物について天然記念物、希少植物について調査し、留意事項を作成したか。						
自然環境等調査 (動物調査)	全体計画ルート沿線の動物について天然記念物、希少動物について調査し、留意事項を作成したか。						
自然環境等調査 (崩壊地)	調査区域について、航空写真、治山流域別調査報告書及び過去の災害記録等既往の資料等により荒廃地の位置及び規模を調査し荒廃現況図を作成したか。						
	崩壊地、土石流箇所、地すべり地、露岩地、急傾斜地、断層、不安定な地質の分布等を調査し、山地保全図を作成したか。						
自然環境等調査 (土地利用調査)	調査区域における土地利用状況を調査し、土地利用計画図を作成したか。						
自然環境等調査 (法令規則)	既往資料等により調査区域における保安林の種類及び位置を調査し、保安林指定現況図を作成したか。						
	既往資料等により山地災害危険地区位置図を添付したか。						
	既往資料等により砂防指定地、急傾斜地指定地位置図を作成したか。						
自然環境等調査 (文化財・天然記念物・史跡)	調査区域の文化財、天然記念物、史跡について、既往資料及び聞き取りにより影響を調査し位置図等資料を作成したか。						
自然環境等調査 (埋蔵文化財)	調査区域の埋蔵文化財について既往資料により影響を調査し位置図等資料を作成したか。						
自然環境等調査 (水系利用)	計画路線沿線の水系利用の実態を調査し、水系利用位置図等資料を作成したか。						
自然環境等調査 (森林レクリエーション)	森林レクリエーションについて、既往の資料により位置、種類、規模、利用状況等の調査を行い、位置図等資料を作成したか。						
自然環境等調査 (景観)	景観について、既往の資料により事業対象地域及び周辺の主要景勝地からの景観の概要、主要眺望点からの眺望を調査し景観図等資料を作成したか。						
自然環境等調査 (自然環境調査の取りまとめ)	自然環境調査結果を調査項目毎に調査し、取りまとめ基準によりランク付けを行ったか。 山地保全図・自然環境調査図を作成したか。						
全体計画 (計画の立案)	開設目的に合致した路線選定となっているか。						

照査②

照査項目	詳細	提示資料	該当対象	照査結果	備考		
					技術提案・指示事項の有無	処理完了年月日	
全体計画 (路線の規格・構造)	規格構造は林道規程に合致しているか。						
	林道規程の例外規定の採用は、発注者と協議し十分検討したか。						
	切土と盛土の土量を抑えるよう検討したか。						
	ヘアピン線形の重複を避けるよう検討したか。						
全体計画 (比較路線の検討)	比較路線は3案以上作成したか。						
	社会特性調査及び森林施業等調査及び自然環境調査の結果を踏まえて比較検討路線図を作成したか。						
	山地保全、自然環境保全、林道開設の低コスト化を考慮した路線を選定し比較検討路線図を作成したか。						
	維持管理経費の低減に寄与する路線を選定し比較検討路線図を作成したか。						
	重要構造物について、必要箇所について十分検討されているか。(橋梁、トンネル等)						
全体計画図 (平面図)	全体計画図(平面図)(5000分の1)を作成したか。						
全体計画図 (縦断面図)	全体計画図(縦断面図) (縦100分の1, 200分の1) (横1000分の1, 2000分の1)を作成したか。						
全体計画図 (横断面図)	全体計画図(横断面図) (100分の1, 200分の1)を作成したか。						
現地測設 (No杭の種類, 杭間隔)	全体計画ルート案に沿ったNo杭(プラスチック杭)を40m間隔で現地に設置したか。						
現地測設 (間点杭の種類)	全体計画ルート案に沿ったNo杭以外の間点杭(木杭)を必要に応じて現地に設置したか。						
事業費積算 (事業費)	事業費について概算工費を積算したか。						
貸与・請求資料 の確認	貸与資料について、リストを作成したか。						
	請求資料について、リストを作成したか。						
地域振興局単独 の基準要領の確認	地域振興局単位の基準等があるか確認し、必要なリストを作成したか。						
	事業毎の統一基準があるか確認し、必要なリストを作成したか。						
	既存設計資料で必要とする資料があるか確認し、必要なリストを作成したか。						
	その他必要な資料があるか確認し、必要な資料のリストを作成したか。						
貸与・請求資料 の確認	適用設計基準名、編集・発行元を整理したリストを作成したか。						
事前及び今後の 想定される対外 協議事項と内容	測量設計段階でわかる範囲で今後必要と考えられる協議対象とその内容を概略整理したか。(発注後に問題とならないようにするためのメモとして)						

基本条件の照査項目一覧表(林道(路線)全体計画調査)

照査③

照査項目	詳細	提示資料	該当対象	照査結果	備考		
					技術提案・指示事項の有無	処理完了年月日	
調査の目的(全体について)	本調査の実施目的を整理し、調査の目的を明確にしているか。	成果品報告書					
社会環境調査(人口)	調査対象路線を含む市町村の人口について、地域の特性を捉えた資料を作成したか。	成果品報告書					
社会環境調査(産業)	調査対象路線を含む市町村の産業について、地域の特性を捉えた資料を作成したか。	成果品報告書					
社会環境調査(道路状況)	計画路線の地域交通網の中での位置付けを明らかにするため道路現況図を作成したか。	成果品報告書					
	利用区域周辺の道路状況を調査し、資料を整理し利用区域道路位置図を作成したか。						
生活環境調査(集落状況)	利用区域周辺の集落状況を調査し、資料を整理し集落分布図を作成したか。	成果品報告書					
森林資源等調査(地域林業)	調査対象路線を含む市町村の林業の現状と問題点を調査し、資料を作成したか。	成果品報告書					
	調査対象路線を含む市町村の森林資源の現状と問題点を調査し、資料を作成したか。						
森林資源等調査(利用区域内の森林資源)	利用区域内の森林の実態を調査し、路線全体及び支線等について資料を整理し、森林資源図を作成したか。	成果品報告書					
	利用区域の森林の樹種及び年齢等について調査し、資料を整理し、林相区分図を作成したか。						
	利用区域の森林利用について、森林施業について資料を整理し、森林整備計画図を作成したか。						
基本計画の策定(開設目的)	調査対象路線の開設目的について、本路線に期待する効果等を整理し開設の目的を明確にしているか。	成果品報告書					
基本計画の策定(路線の規格構造)	調査対象路線の起終点及び主な通過点の現状、既設林内路網での不足事項等を整理し、本路線の計画により実現する規格・構造の方針を明確にしているか。	成果品報告書					
基本計画の策定(計画路線)	開設目的に合った計画路線について、基本計画の路線配置図を作成したか。	成果品報告書					
基本計画の策定(開設効果)	調査対象路線の開設前後の開設効果を整理し、到達距離区分図を作成したか。	成果品報告書					
自然環境等調査(地形)	調査区域について、地形を調査し、計画路線を記入した地形図を作成したか。	成果品報告書					
	調査区域について、斜面の傾斜角を調査し、計画路線を記入した傾斜区分図を作成したか。						
自然環境等調査(地質)	調査区域について、地質を調査し、計画路線を記入した地質図を作成したか。	成果品報告書					
自然環境等調査(気象)	調査区域について、平均気温及び平均降水量等の変化についてデータを調査し、気象資料を作成したか。	成果品報告書					
自然環境等調査(動物・植物)	調査区域について天然記念物、希少動植物について調査し、計画路線を記入した動物・植物調査図を作成したか。	成果品報告書					
	調査区域の動物・植物について天然記念物、希少動植物について調査し、留意事項を作成したか。						
自然環境等調査(崩壊地)	調査区域について、航空写真、治山流域別調査報告書及び過去の災害記録等既往の資料等により荒廃地の位置及び規模を調査し斜面崩壊跡地分布図を作成したか。	成果品報告書					
	崩壊地、土石流箇所、地すべり地、露岩地、急傾斜地、断層、不安定な地質の分布等を調査し、荒廃現況図を作成したか。						
自然環境等調査(土地利用)	調査区域における土地利用状況を調査し、土地利用計画図を作成したか。	成果品報告書					

照査③

照査項目	詳細	提示資料	該当対象	照査結果	備考			
					技術提案・指示事項の有無	処理完了年月日		
自然環境等調査 (法令規則)	既往資料等により調査区域における保安林の種類及び位置を調査し、保安林指定現況図を作成したか。	成果品 報告書						
	既往資料等により山地災害危険地区位置図を添付したか。							
	既往資料等により砂防指定地、急傾斜地指定地位置図を作成したか。							
自然環境等調査 (文化財・天然記念物・史跡)	調査区域の文化財、天然記念物、史跡について、既往資料及び聞き取りにより影響を調査し位置図等資料を作成したか。	成果品 報告書						
自然環境等調査 (埋蔵文化財)	調査区域の埋蔵文化財について既往資料により影響を調査し位置図等資料を作成したか。	成果品 報告書						
自然環境等調査 (水系利用)	計画路線沿線の水系利用の実態を調査し、水系利用位置図等資料を作成したか。	成果品 報告書						
自然環境等調査 (森林レクリエーション)	森林レクリエーションについて、既往の資料により位置、種類、規模、利用状況等の調査を行い、位置図等資料を作成したか。	成果品 報告書						
自然環境等調査 (景観)	景観について、既往の資料により事業対象地域及び周辺の主要景勝地からの景観の概要、主要眺望点からの眺望を調査し景観図等資料を作成したか。	成果品 報告書						
自然環境等調査 (取りまとめ)	自然環境調査結果を調査項目毎に調査取りまとめ基準によりリンク付けを行ったか。	成果品 報告書						
全体計画 (計画の立案)	基本計画路線について、路線選定、現地測設に基づいて補正を行い、全体計画路線を作成したか。	成果品 報告書						
全体計画 (計画路線の概要)	基本計画に基づき、路線の開設目的を実現する路網計画について全体の概要を作成したか。	成果品 報告書						
全体計画 (路線の規格・構造)	全体計画において、計画した路線の規格・構造を林道規程に基づき整理し、該当する林道規程の内容一覧を作成したか。	成果品 報告書						
	林道規程の例外規定の採用は、発注者と協議し、必要最小限の計画図面を作成したか。							
	切土と盛土の土量を抑えるよう検討した計画図面を作成したか。							
	ヘアピン線形の重複を避けるよう検討した計画図面を作成したか。							
全体計画 (比較路線の検討)	比較路線は3案以上作成したか。	成果品 報告書						
	社会特性調査、森林施業等調査及び自然環境調査の結果を踏まえて、開設目的を達成できる比較検討路線図を作成したか。							
	山地保全、自然環境保全、林道開設の低コスト化を考慮した路線を選定し比較検討路線図を作成したか。							
	維持管理経費の低減に寄与する路線を選定し比較検討路線図を作成したか。							
	重要構造物について、必要箇所について検討し、最も低コストとなる計画図面を作成したか。(橋梁、トンネル等)							
現地測設 No杭の種類 杭間隔	全体計画ルート案に沿ったNo杭(プラスチック杭)を簡易な測量器具を使用し40m間隔で現地に設置していることを確認したか。	成果品 報告書						
現地測設 (間点杭の種類)	全体計画ルート案に沿った地形の変化点に間点杭(木杭)を必要に応じて現地に設置していることを確認したか。	成果品 報告書						
施設計画 (実施段階での留意事項)	施設計画について、総合解析の結果を基に各施設の位置・規模・規格を整理し、各施設毎の実施段階での計画の留意事項を整理して作成したか。	成果品 報告書						
施設計画 (参考文献)	参考文献について、文献名、編集・発行元等を整理したリストを作成したか。	成果品 報告書						
路線開設時・維持管理の留意点	路線開設設計時点及び施工、維持管理上の留意点のまとめを作成したか。	成果品 報告書						

照査③

照査項目	詳細	提示資料	該当対象	照査結果	備考		
					技術提案・指示事項の有無	処理完了年月日	
総合解析 (留意度の軽重ランク分け)	調査によって作成した各図面を重複させて関連の深い因子を求め留意度の軽重によってランク分けを行ったか。	成果品 報告書					
総合解析 (自然環境調査図)	山地保全図及び土地利用現況図を踏まえ自然環境調査図を作成したか	成果品 報告書					
総合解析 (自然環境調査の取りまとめ)	自然環境調査結果を調査項目毎に調査し、取りまとめ基準によりランク付けを行ったか。	成果品 報告書					
総合解析 (留意点及び路線計画 上講ずべき対策)	各調査結果及び路線選定の留意事項等に基づく総合的な検討を行い、計画路線選定に当たっての留意点及び路線計画 上講ずべき対策について取りまとめを作成したか。	成果品 報告書					
全体計画図 (平面図)	全体計画図(平面図) (5000分の1)を作成したか。	成果品 報告書					
全体計画図 (縦断面図)	全体計画図(縦断面図) (縦100分の1, 200分の1) (横1000分の1, 2000分の1)を作成したか。	成果品 報告書					
全体計画図 (横断面図)	全体計画図(横断面図) (100分の1, 200分の1)を作成したか。	成果品 報告書					
事業費積算	事業費について工費を積算し、設計図書(総括表, 明細表, 設計図, 排水断面計算集計表)を作成したか。	成果品 報告書					
必要協議	事業実施に向けて必要な協議事項(他所管, 所有者等)のまとめを作成しているか。	成果品 報告書					

